



鮎壺の滝・割狐塚稲荷神社・溶岩塚探索 富士山の溶岩流がつくった 三島の大地を巡るツアー



三島溶岩流により出来た滝や溶岩塚。それらがどのようにして出来たのかという過程や構造を見ながら、三島溶岩流と人々の歴史や文化との関連性に触れるガイドつきツアーです。

参加対象 / 火山学会・参加者および関係者

日程: 2022年10月12日(水)

時間: 9:30AM~11:45AM

9:30集合(三島駅北口)⇒〈タクシーで移動〉⇒
9:50ガイドつきウォーク【鮎壺の滝→石丁場跡→割狐塚稲荷神社→その他
溶岩塚探索→三島駅北口】⇒11:45終了・解散(三島駅北口)

集合場所: JR三島駅北口 ジオ看板前
<https://goo.gl/maps/1oDxj4ARPrqJpRa47>

参加費(税込): 2,500円
(別途タクシー代実費/乗り合いワリカン・1台1,200円目安)
※当日現金にてお支払い下さい。



鮎壺の滝・割狐塚稲荷神社について



黄瀬川にかかる鮎壺の滝(県指定天然記念物)には、何枚かの溶岩が積み重なった厚さ10mほどの岩盤が見られます。これは、およそ1万年前に富士山から流れてきた溶岩流(三島溶岩)です。

溶岩の下にあったやわらかいローム層(風に舞った火山灰や大気中のほこりが積もった地層)が黄瀬川の流れによって削られ、残された硬い溶岩の部分が滝を作り出したのです。

岩盤の底には、かつてそこに生育していた樹木が立ったまま焼かれたことを示す溶岩樹型の丸い穴(溶岩樹型)も複数見られます。

滝の周囲は公園として整備され、つり橋からは滝と富士山を正面に見ることができます。

滝の東側の市街地にある割狐塚稲荷神社の境内には、三島溶岩の表面にできた溶岩塚が保存されています。溶岩塚は、溶岩が流れる際に、先に冷え固まった部分が横から押された結果、割れて盛り上がりできたものです。

(伊豆半島ジオパークホームページより)

【インフォメーション】

- 雨天決行・荒天中止となります。(判断・決定は前日の13時。中止にする際は前日午後メール連絡いたします。)
- 火山学会秋季大会がオンライン開催に変更になった場合、当ツアーは中止とさせていただきます。
- 火山学会秋季大会初日の開始が午前中からとなった場合は、中止とさせていただきます。
- 最少催行人数は4名様、参加定員は15名様(先着順)です。
- 必ず事前のご予約をお願いいたします。
- 静岡県及び三島市の新型コロナウイルス感染症防止のガイドラインに則って催行いたします。
- 歩くコースは難易度が低く、歩きやすいところを予定しております。

参加お申込み

こちらのページより、キャンセルポリシーをご確認の上、事前の参加お申込みをお願いいたします。
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc3Hm0C8Obk3Iw2iBeZLzf3hMU0U9j4ZPT08b1AtSsCrslv/w/viewform>

※事前ご予約のない方のご参加はできません。

